

小学校そろばん指導・ ボランティアについて

研修部 徳増 久夫

これまで静岡県に於いて小学校でのそろばん指導については、東部の伊東・三島など数か所で行われているとの事でした。本年一月十九日に開催された研修部会の午後の議題に採り上げられ各部員の意見を聞いたところ、清水でも毎年実施されていますと発言がありました。詳細は地区長に聞いてから回答しますとの事で当日は終了。

二月十一日の教材・教具研究会当日、清水地区長の望月先生・澤田先生と会談して見学希望を申し出る。見学については該当する小学校長の許可が必要との事であり、窓口となっている澤田先生に一任しました。後日、深澤先生を通して船越小の授業参観について許可をいただいたとの連絡がありほっとする。船越小は校長先生の珠算に対して深いご理解があり、三年生四クラスそれぞれ三時間の時間を充当して頂くとの事。見学する日時は、二日目に該当する三月七日(金)の三時間目と四時間目に決定。深澤先生の地元の学区であり、一緒に見学する事になりました。

三月七日当日、マイカーで舞阪駅に向かうが出勤時間帯のラッシュであり、浜名湖大橋の途中、中の島信号ではスズキの湖西工場へ向かう西行き車両が渋滞中、東行きはスムーズに走行。何とか予定の上り電車で乗車し浜松駅で興津行きに乗り換え、草薙駅へ向かい定刻に到着。草薙駅からはタクシーを利用し約十分の乗車、船越小では深澤先生が正門の外で待つていてくださり恐縮しました。

二時間目が終了したので玄関に向かい授業を終えた望月先生・澤田先生と合流して職員室を訪れ、教頭先生と挨拶を交わしたのち、三時間目の授業をするクラスに向かう。三時間目のクラスでは二十九人の生徒が待機中、当番の挨拶、クラス担任の



先生挨拶に続いて澤田先生から深澤先生と私の紹介がされ、二日目となるそろばん指導が始まる。使用する教材は珠算連合発行の「たのしいそろばん三年・四年」。まずは昨日の復習を約十五分、続いて今日の授業は五をつくる問題の説明に入る。4+3の問題では生徒たちは即座に7と正答を答える。そろばんではどのようにして計算をするのかと説明を始める前に、5になるには1と0・2と0・3と0・4と0になることを繰り返し説明して生徒の理解を求める。ここからが珠算の分野となり、澤田先生の指導にも熱が入ってくる。4に3がたせないためどうするのか、そろばんには5珠があるので5をたす。3をたすはずなのに5をたしたままではいけないため、多く



たした2をとる(引く)と計算が終了。正解は7となる。澤田先生が読み上げ算で何回も4+3、3+2のような問題を唱えるが、3は5たして3を引く、2は5たして2を引く場合が見受けられる。はじめに3と3では5にならない、2と2でも5にならないことを注意してもやはり間違ってしまう。これは私の教室でも頻繁にみられる光景です。この後何問かを練習する。私がさっと見渡した感じでは、このクラスでは半数以上の生徒が理解できたと判断しました。授業の終わりに生徒に目を閉じて、「そろばん式暗算」を何問か読み上げて三時間目の授業を終了。

四時間目は別のクラスに移動、このクラスは三十人が在席。先のクラスと同じように授業を進めて行く

